

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策 体系	分 野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施 策	25 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー		
重点プロジェクト				
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する		
主 管 課	都市政策部 道路課	評価責任者		山風呂 敏
		評価日		令和7年6月2日
関 連 課		学校教育課		
目 標		事故死者数に占める高齢者の割合が高いことや自転車による交通事故が多いことなどを踏まえ、更なる交通安全対策を進めます。また、円滑な通行の妨げとなる放置自転車の解消に向けた取組を引き続き実施します。		
施策目標の実現 に向けた取組		(1) 交通安全意識の醸成 ○交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進します。 ○スクエアード・ストリート教育技法による交通安全教室など、より効果の高い交通安全教育を推進します。 (2) 生活道路の安全対策の推進 ○「ゾーン30」など、生活道路における交通安全対策を推進します。 ○安全な自転車通行環境の整備を推進します。 (3) 交通安全施設の適切な維持管理 ○交通安全施設の適切な維持管理、修繕を実施します。 (4) 放置自転車の解消 ○放置自転車禁止区域における放置自転車の解消を図ります。 (5) 自転車通行空間の整備 ○自転車による移動の安全性、快適性、利便性の確保を実現するために、自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間を整備します。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	自転車事故による負傷者数 ※減少を目指す指標							
		説明	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、警察及び各種団体と啓発活動を実施している。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置工事を実施した結果、目標を達成した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	65	65	65	65	65	65	65	
		実績値	50							
	指標2	指標名	ゾーン30の指定箇所数（累計）							
		説明	市内の住宅密集地に県警と協力して最高速度を30km/hに規制する区域を指定し目標を達成した。							
		単位	箇所							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	5	5	6	6	6	7	7	
		実績値	5							
	指標3	指標名	放置自転車禁止区域における放置自転車撤去台数 ※減少を目指す指標【総合戦略】							
		説明	周知看板等で放置自転車禁止区域の周知を行ったことにより、放置自転車撤去台数の減少につながり目標を達成した。							
		単位	台							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	450	440	430	420	410	400	390	
		実績値	389							
	指標4	指標名	自転車通行空間整備延長（累計）							
		説明	平成30年度に策定した自転車ネットワーク計画に基づき、令和6年度は市道幹線1号線において上福岡図書館入口交差点付近から450mの区間について自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。							
		単位	k m							
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	3.80	4.30	4.80	5.30	5.80	6.30	6.80	
		実績値	3.82							
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	141,113	0	0	0	0	0	0
	人件費	44,687	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	5,693	0	0	0	0	0	0
	一般財源	180,107	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	交通安全広報活動の実施及び交通安全施設の維持管理	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、埼玉県警察及び各種団体と啓発活動を実施した。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置を実施した。	市役所窓口や交通安全街頭活動などで、交通安全運動の啓発品を配布し、市役所周辺道路にのぼり旗の設置を行った。主な交通安全施設の修繕及び設置の内訳は、道路反射鏡修繕を34箇所、防護柵修繕を17箇所実施し、自転車事故等の防止を図った。	交通安全推進事業（一部）
取組②	ゾーン30の設置	ゾーン30区域指定した箇所の交通安全施設の維持管理を実施した。 市民に向けてゾーン30についての周知・広報活動を行った。 駒西地区において、スムーズ横断歩道の本設置を実施した。	ゾーン30指定区域内の交通安全施設の維持管理を行い、また市民への周知を図ったことにより、ゾーン30指定区域内における重大事故は発生しなかった。 スムーズ横断歩道を設置し、より安全な交通環境の整備に寄与しました。	交通安全推進事業（一部）
取組③	放置自転車禁止区域内の自転車撤去及び市営自転車駐車場の管理運営	上福岡駅及びふじみ野駅周辺に放置された放置自転車の撤去作業を実施した。 指定管理者による自転車駐車場の管理運営に係る管理指導を実施した。 安定的な経営及び、民業への圧迫解消のため、利用料金の見直しと、苗間第1・第2自転車駐車場の統合を実施した。	放置自転車撤去は、上福岡駅周辺は172日、ふじみ野駅周辺は12日、合計184日実施した。 利用料金の見直しと、苗間自転車駐車場の統合を実施した。	自転車対策事業 自転車駐車場管理運営事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	交通安全広報活動を通じて交通安全意識の向上を図った。交通安全施設の修繕等の実施により自転車事故による負傷者数は減少している。また、自転車利用者への安全対策として、県西部では初となる自転車ネットワーク計画を策定し、この計画に基づき、幹線1号について、自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。また、市内の駅周辺の放置自転車撤去作業を実施することにより、放置自転車禁止区域の周知が図られ、放置自転車撤去台数の減少に寄与した。駒西地区の交通安全対策として、令和5年度に短期的対策とされているスムーズ横断歩道の実証実験を実施し、速度抑制効果並びに、地域からの一定の理解を得ることができたため、令和6年度はスムーズ横断歩道の本格設置を実施した。新型コロナウイルスの感染症拡大防止による自転車の利用形態に変化が生じたこと等、時代の変化に対応し、市営自転車駐車場の安定的な経営及び、民業への圧迫を解消するため、市営自転車駐車場の利用料金の見直しと、苗間第1・第2自転車駐車場の統合を実施した。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	